

未来のつばさ

第7回! セカイヒロイノタビ 連載中!



INDEX

P.2 ●はじめに

- 2022年度収支決算
- 社会的養護の現状について
- 2022年度応募者について／支援結果

P.4 子ども達からの感謝のメッセージ

ご支援ありがとうございました!

P.5 連載第7回!

セカイヒロイノタビ「小さくて大きい」

P.6 特集

未来へはばたく子ども達

Vol. 33
2023

はじめに

社会的養護を必要とする子どもたちは現在約4万2千人います。戦後の経済成長により貧困家庭が少なくなるとともに、養護児童数も減少傾向にありましたが、1990年代後半から虐待の増加や保護者の養育放棄などにより保護される子どもが増え、児童虐待・ネグレクトが大きな社会問題となる中、社会的養護は、質・量とも更なる拡充が求められています。

当財団は、児童福祉の充実と向上に寄与することを目的に、2011年6月1日にアイリオ生命保険株式会社(現 楽天生命保険株式会社)の寄付により設立され、主管事業である自立奨学支援事業の公益性が高く評価され、2011年12月14日公益財団法人に認定されました。その後、設立母体の楽天グループ入りに伴い、2014年10月財団名称を「公益財団法人 楽天未来のつばさ」に変更し、現在に至っています。

当財団は社会的養護を必要とする子どもたちの夢と希望を守り、感謝の気持ちを持ち続ける強い心を応援します。

自立奨学支援事業の概要

〈支援対象〉

- 申請時に児童養護施設・母子生活支援施設等の児童福祉施設に入所している児童または里親家庭で生活している児童
- 原則18歳を迎え就職・進学する児童

〈2023年度の支援内容〉

- 就職・進学の一時的金として 一人15万円支給(支援金の返済義務なし)

2022年度収支決算(概要) 2022年4月1日から2023年3月31日まで

2022年度の収支についてご報告いたします。

項目	金額	項目	金額
1. 経常収益	42,453,466	6. 当期指定正味財産増減額	▲5,000,000
2. 経常費用計	44,003,418	7. 指定正味財産期首残高	36,147,298
3. 当期経常増減額	▲1,549,952	8. 指定正味財産期末残高	31,147,298
4. 一般正味財産期首残高	9,688,821	9. 正味財産期末残高	39,286,167
5. 一般正味財産期末残高	8,138,869		

各年度の財務諸表等は、ホームページにてPDFファイルでご覧いただけます。

社会的養護の現状について

里親数 施設数 児童数

●里親

家庭における養育を里親に委託		登録里親数	委託里親数	委託児童数
		15,607世帯	4,844世帯	6,080人
区分 (里親は重複登録有り)	養育里親	12,934世帯	3,888世帯	4,709人
	専門里親	728世帯	168世帯	204人
	養子縁組里親	6,291世帯	314世帯	348人
	親族里親	631世帯	569世帯	819人

●ファミリーホーム

養育者の住居において家庭養護を行う(定員5~6名)	
ホーム数	446か所
委託児童数	1,718人

●施設

施設	乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	母子生活支援施設	自立援助ホーム
対象児童	乳児(特に必要な場合は、幼児を含む)	保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童(特に必要な場合は、乳児を含む)	家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童	義務教育を終了した児童であって、児童養護施設等を退所した児童等
施設数	145か所	610か所	53か所	58か所	215か所	229か所
定員	3,827人	30,140人	2,016人	3,340人	4,441世帯	1,575人
現員	2,351人	23,008人	1,343人	1,162人	3,135世帯 児童5,293人	818人
職員総数	5,555人	20,639人	1,522人	1,839人	2,073人	874人

(出典)こども家庭庁支援局家庭福祉課「社会的養育の推進にむけて」(令和5年4月5日)より

※里親数、FHホーム数、委託児童数、乳児院・児童養護施設・児童心理治療施設・母子生活支援施設の施設数・定員・現員は福祉行政報告例(令和4年3月末現在)

※児童自立支援施設の施設数・定員・現員、自立援助ホームの施設数は家庭福祉課調べ(令和3年10月1日現在)

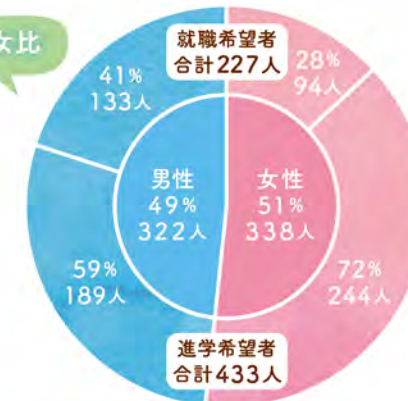
※職員数(自立援助ホームを除く)は、社会福祉施設等調査報告(令和3年10月1日現在)

※自立援助ホームの定員、現員(令和4年3月31日現在)及び職員数(令和3年10月1日現在)は家庭福祉課調べ

※児童自立支援施設は、国立2施設を含む

2022年度応募者について

進路別男女比



2022年度支援結果

	男	女	合計
就職	33	29	62
進学	56	62	118
合計	89	91	180

羽ばたいていった皆さまへ
「未来のつばさナビ」
—あなたはひとりじゃない—

財団では、近況報告を提出して頂いたみなさんに、「未来のつばさナビ」をお送りしています。今年も支援決定した皆さんに「未来のつばさナビ」をお送りし、約9割の方から参考になるとのご回答をいただきました。

アンケートの回答結果

- 大変参考になる……………53%
- ある程度参考になる……………38%
- 不要(未回答含む)……………9%



寄付者の方へ

子ども達から感謝のメッセージ

ご支援ありがとうございました!

お客様を笑顔にできるように!

新しい生活への
楽しみの気持ちでいっぱい!

立派な保育者になります!

今回、自立に向け支援をしていただき、本当にありがとうございます。私は4月から美容院で就職をします。私は人をきれいにし、人の笑顔が見たいと思、美容師を目指しました。美容師は様々な道具が必要になってきます。これらの道具を上手に使いながらお客様を笑顔にできるように、「お任せください」とお話しもらえるように頑張る日々の努力をしたいと思います。

この度は私に自立奨学金としてお金を寄付してください、ありがとうございます。私は4月F7施設を退所し、1人で生活を送ることにします。初めてのことも多く、不安でいっぱいですが、特にお金のことがとまど配でした。しかし、多くの方が私にお金を寄付してください、のおかげで、その心配が少し減り、今では新しい生活への楽しみの気持ちでいっぱいです。今回、私にお金を寄付してください、の皆様、本当にありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れず、新しい生活を送っていきます。

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。

この度は自立奨学金を支援していただきありがとうございます。進学の上で、毎月の生活費は毎月9万円ほど必要があり、私には、今回支援していただいたおかげで、不安や悩みが解消されました。私には、不安や悩みが、どうしての夢に向かっているのかを日々追求することで、自信のつぼみ、元気をくれると感じています。また、今後支援していただく9万円の人の思い、感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきます。

将来は施設への経験を通じ、輝かしい立派な保育者になりたいです。

この度はご支援いただきありがとうございます。この4月から新しい生活が始まります。高校を卒業して就職します。入社日が近づくにつれて不安を感じることがあります。しかし職場の方と一緒になれることにより楽しみがあります。今は措置延長で園で生活しています。しかし仕事に慣れたら園を出る予定です。頂いた支援金は一人暮らしの用意などに使わせていただきます。ありがとうございました。

一人暮らしをするために!

この度は自立奨学金のご支援頂き本当にありがとうございます。私は、児童相談所で働く保健師になるという夢を叶えるために、私立の四年制大学に進学します。医療系大学は学費が高傾向にあるうえ、実習費や交通費、自費の購入、テキストや聴診器の購入など、経済的負担に耐えられず不安を感じていました。そのため、貴団体から頂いたお金はとてもありがたかったです。今後とも周りの大人の方や貴団体からのご支援に感謝の気持ちと志をこたえ、保健師としての養育士身に力をつけるための努力を怠りません。

保健師になる夢を叶えるために!

無事に春から法学部へ進学!

この度は奨学金の支援を頂きありがとうございます。ご支援のおかげで無事春から大学生として新生活が始めることができます。法学部へ進学し4年間を学びを深めると共に、新たな仲間や様々なものを吸収し知識と教養を双方ともに培っていきなさいと思います。

沢山の方の支えによってこれからの生活があることを心はず、有意義な大学生活を送りたいです。

本当にありがとうございました。

私は進学して春から大学生となります。残念ながら第一志望の大学へ進むことはできませんでしたが、それを目指して日々の勉強、学校・地域での活動に励み中で改めて多くの人の支えを実感しました。特に年明けからの2月、受験、進学準備においては、私思いの一言励み期間でした。本当にありがとうございます。

次は私の番だと思います。改めて決意した「誰かを支えられる人になる、そんな仕事に就きたい」ということを実践し、私たちが支えられた社会に恩返しをしています。

誰かを支えられる人になる!

困っている人を
支援できるようになりたい!

今回はご支援頂きありがとうございます。私は児童養護施設に来た時期が遅く、貯金があまり多くありませんでした。そのため、卒業後の生活にも不安を感じていました。しかし、皆様の支援のおかげで私は2の者の新社会人として不自由なく暮らしていくことができます。そして安定した生活を手に入れた。今度は私が困っている人を支援できるように努力したいと思います。就職先の航空自衛隊で戦闘機のパイロットを目指して頑張りたいです。



「クマサンは悲しんでいるんだね」ハリはそれだけ言って、ボクの涙が止まるのを黙って待っててくれた。ありがとうハリ。

特集

今年の春から新たな生活をスタートさせた子ども達の近況報告

未来へはばたく子ども達

施設等を巣立っていった子ども達が、社会へ出てみて実感したその厳しさや楽しさ、また、多くの人に支えられているという現実について、感謝の気持ちを込め近況を届けてくれました。

一人ひとりに寄り添える スタイリストに

●美容院に就職した子

現在私は夢だった美容院に就職し、有難いことに忙しい毎日を送らせていただいています。今はまだアシスタントとしてスタイリストのフォローが多く、シャンプーやカラー塗布、ヘッドスパなど簡単なものしかできませんが、どこかのツボを押したら気持ちいいのか、どんな洗い方をしたら気持ちよく寝てもらえるのか、先輩の手本を見て、聞いて、実践して学んでいます。お客様には「成長したね。気持ちよくて寝そうだった。」「気持ち良かった。またやって欲しい。」と言ってくることが多く、その度に「もっと頑張らなきゃいけない」と向上心につながっています。これから自分のお客様も増えてくると思いますが、一人ひとりのお客様に丁寧に寄り添い、信頼されるスタイリストになれるように自分を磨いていきたいです。時には苦しく泣くこともあります。それだけ自分を必要としてくれる人がいると思うと頑張る励みになっています。

ユニットリーダーより

入職後しばらく慣れるまでは、体力的にも精神的にも辛い時期があったようですが、自分の夢に向かって前向きに強い気持ちで頑張っている様です。施設職員へもカラーのモデルになってもらえないかと依頼があり積極的に取り組む姿も見られます。



施設職員・里親からのメッセージ

新たな生活を送っている皆さまへ

困った時は遠慮せずに、周りの人へSOSを出して助けを求めてほしいと思います。決して「ひとり」と思わないでほしいです。

(児童養護施設 自立支援担当より)

4月から約半年が経過し、新しい生活に少しずつ慣れてきた頃だと思います。ですが、まだ分からないことや困ったこともあると思うので、その時は信頼できる人に相談してください。また、退所された施設は、皆さんにとって帰って良い場所です。皆さんの「たのいま」を「おかえり」と迎え、大人になった皆さんと当時の話ができることを楽しみにしている職員は多いと思います。そして、小さなことでも良いので自分にしか出来ない強みを見つけ、自分ができていることを精一杯頑張ってください。頑張っていれば必ず見ていてくれる人がいるはずですよ。皆さんの頑張りを応援しています。

(児童養護施設 保育士より)

とても恵まれていたことに感謝

●就職をして一人暮らしをしている子

施設を出て約5カ月が経ちました。はじめの1カ月は、仕事が大変で朝起きるのも大変で帰ってからの掃除やご飯作り、洗濯物干し、片付けなどやる事が多く寝る事もままならなくきつかったです。最近になると仕事にも慣れはじめ、残業も増えましたが、やるべきことをその日の内に全て終わらせることができるようになりました。施設の方に居た時のことを思い返してみると、当たり前のようにご飯が準備されていたり、洗濯物が畳まれていたり、掃除されてきれいになった部屋などがあるということが、とても恵まれていたと今では感謝することができるようになりました。これから、仕事もプライベートも忙しくなってきますが、施設にお世話になったことを忘れず、自分なりに精一杯がんばり恩返しをできるようにしたいです。

家庭支援専門相談員より

奨学金を支援していただきありがとうございます。本人は、今年3月末にこちらを出て、アパートで一人暮らしをしながら仕事へ行っています。先日あった時は、作業着姿も板につき、少し大人びた感じを受けました。最近では、「仕事も現場へ行くことが増え大変だけど、まあなんとかやっています。」とっていました。生活のペースもつかめてきて、弟も泊りに来るなど、家族との交流もそれなりにできているようです。今後も体に無理のないように、元気に過ごしてくれればと思っています。



皆さまへ

新しい環境で新しいことを始めるのは、とても勇気のいることだと思います。自分の目標、夢を忘れずに、頑張りを継続していきましょう。辛いこと、しんどいことは、これからもたくさんあると思います。その時は無理せずに、周りの人や一緒に過ごしてきた人に頼ってください。頼ることは恥ずかしいことではなく、逆に安心させてくれます。

(児童養護施設 児童指導員より)

住み慣れた場所や環境から出て行くことへの不安は、とても大きかったと思います。新しい居場所で、新たな悩みがたくさん出てきているかもしれません。しっかり向き合い、時には逃げつつ少しずつ大人になってください。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

(児童養護施設 児童指導員より)

一番興味があるのは「奨学金と教育」

●大学に進学をした子

大学での授業が始まった当初は、慣れない環境や知らない人たちと接することに過度に神経を使っていたように思います。しかし、一週間もすれば話す友達もでき、楽しく大学生活を送ることができています。授業はより専門的になり、身の周りの事柄、ニュースになっていることを捉えて、自分なりの意見を形成することも多くなりました。今、一番興味があるのは、「奨学金と教育」です。私の通う大学では、他学部が開く講義もとることができるので、より幅の広い見識をもって興味のある事柄に取り組みたいと思っています。サークルでは、国際交流を行うサークルと、発達障害をもつ子どもたちを支援するボランティアサークルに所属しています。最近では、国際交流を行うサークルで、9月入学の海外留学生を支援する活動を行っています。塾講師のアルバイトも始めました。高校生の時にはできなかった様々なことにチャレンジし、新たな知見を身に付けることができています。

里親より

入学時には、緊張の面持ちで巣立っていきましたが、春学期がとても充実していたようで今回の帰省ですっきり明るい表情になっていました。日々の授業では新しい知識に刺激を受け、同じく帰ってきた姉たちと楽しそうに話す姿も見られました。課外活動では、海外交流とボランティアのサークルに入り、休日も積極的に活動しているそうです。アルバイトも早速始めて、塾講師をして受け持ちの生徒さんもでき、張り切っている様子です。



大きな進学の価値

●大学に進学し寮で生活している子

大学生活をスタートして早くも5カ月が経ちました。夏休みに入りやっと少し余裕が生まれた気がします。春学期は大学も暮らしも初めてのことで、日常を送ることで使うエネルギーの大きさに不安を感じることもありました。そんな中でもサークルを通して友人が何人かできて、居心地の良い雰囲気に触れつつ穏やかな日々を過ごしています。対人関係の恵まれた出会いに何よりも喜びを感じるので、中高に続き大学でも良い巡り合わせがあったことが、学ぶことと同じくらい大きな進学の価値となりました。当初意気込んでいたように学習や自炊などが完璧だとは到底言えませんが、上手く折り合いをつけることもまた学びかな、とポジティブに捉えています。無理はし過ぎず、けれど自分の中での最大限は尽くして、色々な事を経験し「有意義だった」と胸をはれる4年間にしたいと思っています。

自立支援担当より

新学期は学校と寮での生活に慣れる事で精一杯のようでしたが、夏休みに入る頃から少しずつ自分なりの生活のペースをつかみ、友人もでき、楽しい学生生活を送っているようです。アルバイトも始めたようで、安定した生活の表れともとれます。先日来園し、元気な顔を見せてくれました。



寄付のお願い

当財団は、皆さまからの寄付金を財源として運営されています。
活動と事業内容にご賛同いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。
(当財団への寄付は寄付金控除の対象となります)



はがき で寄付をする

書き損じ・未使用の年賀状、未使用
はがきでのご寄付を承ります。
(はがきは寄付金控除の対象外です)

送り先

〒107-0062
東京都港区南青山2-6-21
楽天クリムゾンハウス青山
楽天未来のつばさ
書き損じはがき係

書き損じはがきによるご寄付をありがとうございました。

2022年度も書き損じはがきによる、たくさんのご寄付を賜りありがとうございました。
皆様の継続的なご支援に心より感謝申し上げます。
なお、1月中旬の締切日を過ぎてお送りいただきました分は、
次年度の支援分とさせていただきます。

寄付金額 **51,920円**



オンライン決済 で寄付する

オンライン上でクレジット決済がご
利用いただけます。「1回の寄付」と
「毎月決済」をお選びいただけます。

ホームページより**クレジットカード**
でご利用いただけます。

ホームページをぜひご覧ください

公益財団法人 楽天 未来のつばさ

応募要項や施設の先生・施設を退所した先輩からの
メッセージをご紹介します。

楽天未来のつばさ

検索



<https://mirainotsubasa.or.jp/>



公益財団法人 楽天 未来のつばさ

〒107-0062 東京都港区南青山2-6-21楽天クリムゾンハウス青山
電話:050-5581-7300 E-mail:info-mirainotsubasa@rakuten.com
お問い合わせは、財団HPの“お問い合わせフォーム”もご利用ください